

英会話を習う前に 知って得する6つのコツ



スペシャル特典！

初心者がすぐに実践できる！

- ★ 声の出し方
 - ★ フレーズの組み立て方
 - ★ 会話の流れ
- 他3つ

スピーキング力向上
初級編

【1つ目】英会話を習う前に知って得するコツ！

最初にすることは日本語で話す時より

声を大きくして話すこと！

日本語と英語の違いを把握するとなぜ大きな声を出した方が
良いか理解できると思います。

日本語は主に母音を組み合わせで作られているため比較的に口
を大きく動かしながら話しています。

母音とは=あ、い、う、え、お 日本語の子音=ん

一方、英語は主に子音を組み合わせで作られているため、比較的
的口をあまり動かさないで言葉を発することができるのでモゴ
モゴした感じに聞こえることが多いです。

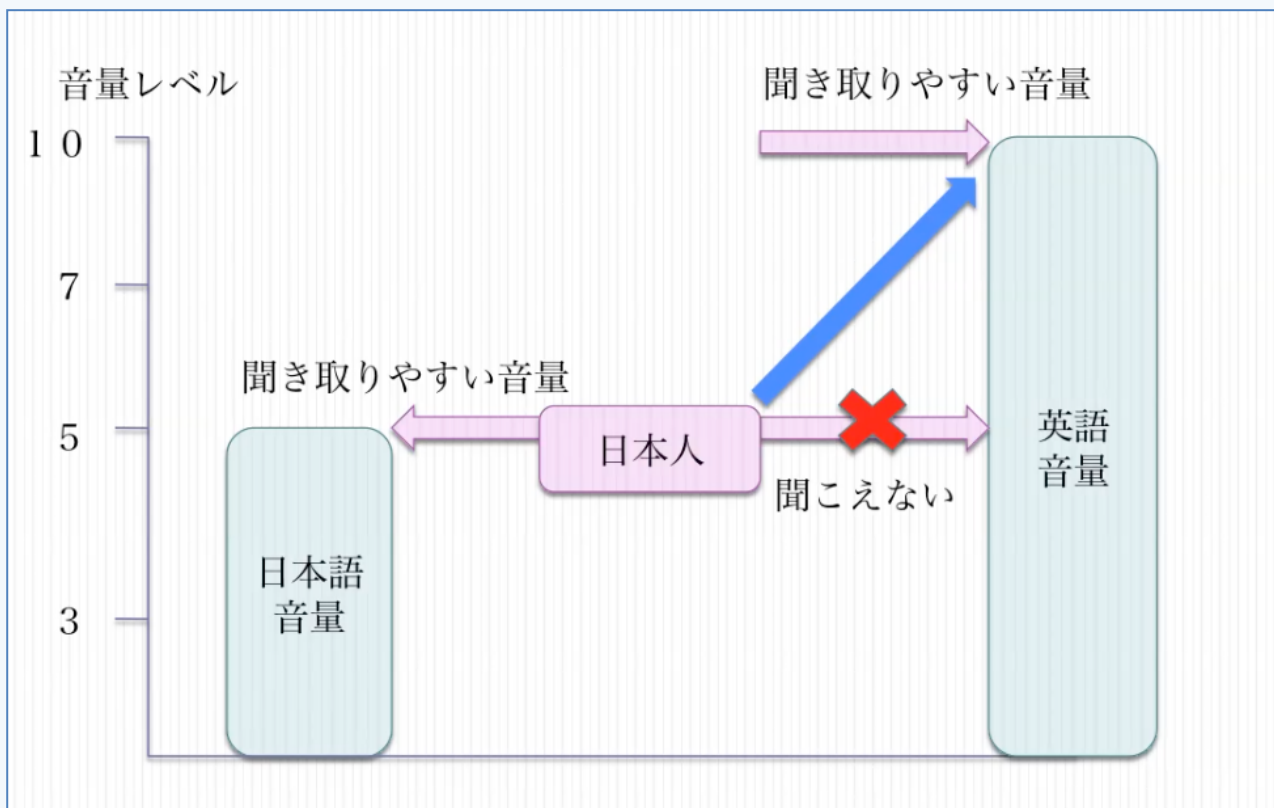
子音とは=sh、th

このような音は、口をほぼ閉じた形で息を吐く感じの音になり
ます。

普段日本語を話す時よりも英語で話す時は2倍の音量で話すこ
とを心がける！

それだけで英語が伝わりやすくなります。

英語と日本語の聞き取りやすい声の大きさ比較：



上記の図で表しているのは日本語で普段会話する時は音量5で発すれば相手に問題なく伝わっていても、

英語を音量5で発しても聞き取りにくいのです。

一瞬で自分の英語が伝わりやすくなる方法は、喋る音量をあげることです。

普段日本語で話す時の声量より意識的に声量を上げて英語で喋ることで

英語は伝わりやすくなります。

例えば：

Could I have 3 of those?

それを3ついただけますか？

いくら発音が上手な言い方でも、
声が小さければ相手に伝わりません。

逆に

Three please. (3つお願いします) と声を張って伝えた方が
間違いなく小声の正しいフルフレーズより伝わります。

だからこそ英語を話す時は、声を普段より大きくして話すこと
を心掛けましょう。

【2つ目】英会話を習う前に知って得するコツ！

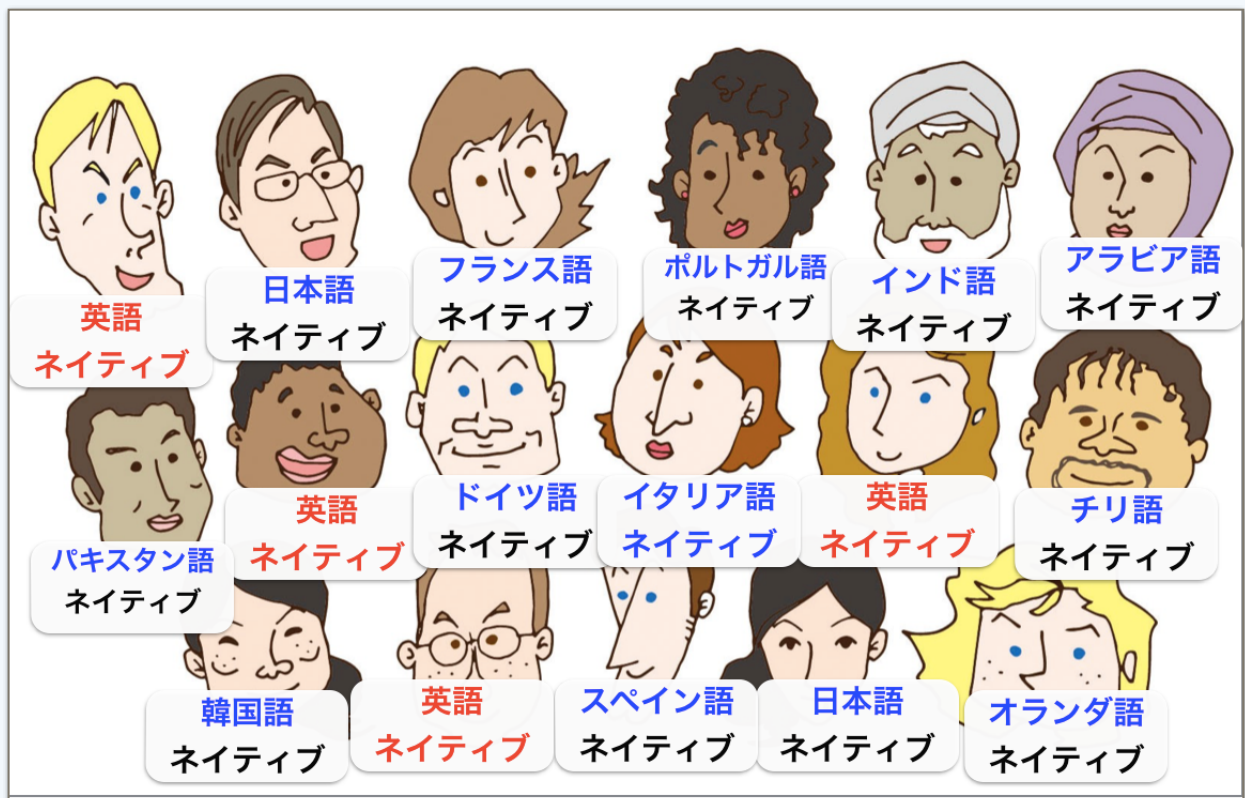
間違えることを恐れないこと！なぜなら当たり前だから！

全世界の英語が話せる人口の7割～8割の人は、第二言語として英語を使っていると言われてています。

英語ネイティブは少数派になります。

世界の英語スピーカーはほとんどが下手くそなのです！

なぜなら、誰もが母国語以外の第2言語として使っているため、間違った使い方をしている人たちも想像以上に多いのです。



日本語が母国語であれば日本語ネイティブ、フランス語がネイティブならフランス語ネイティブ。

英語は第2言語又は第3言語など、1番得意な言葉ではない方が圧倒的に多いです。

実際に流暢に話せる方も多いですが、文法だったり、単語が初歩的なレベルで話している人が圧倒的に多いんです。

間違った単語、文法、フレーズ、こんなものは当たり前です！

だから恥ずかしがらずに間違えていてもいいから
覚えた英語は頭で考え過ぎず声に出して
どんどん使っていくことが大切です！

【3つ目】英会話を習う前に知って得するコツ！

「会話」とは何かを理解すること！

英会話は「会話」です。日本語で会話をする時と同じように話せば良いのです。

会話は「あいさつ」から入り、その後に必ず「質問」があり、その後に、その質問に対する返答をする。

挨拶

↑ ↓

質問

↓ ↑

返答

この流れを理解することで、会話に必要なことは、『挨拶の仕方』『質問の仕方』『そして応え方』になるのです。英語で会話をする時も同じです。

英会話の初心者は、どこから始めたら良いか、
何を習ったら良いか分からないまま、

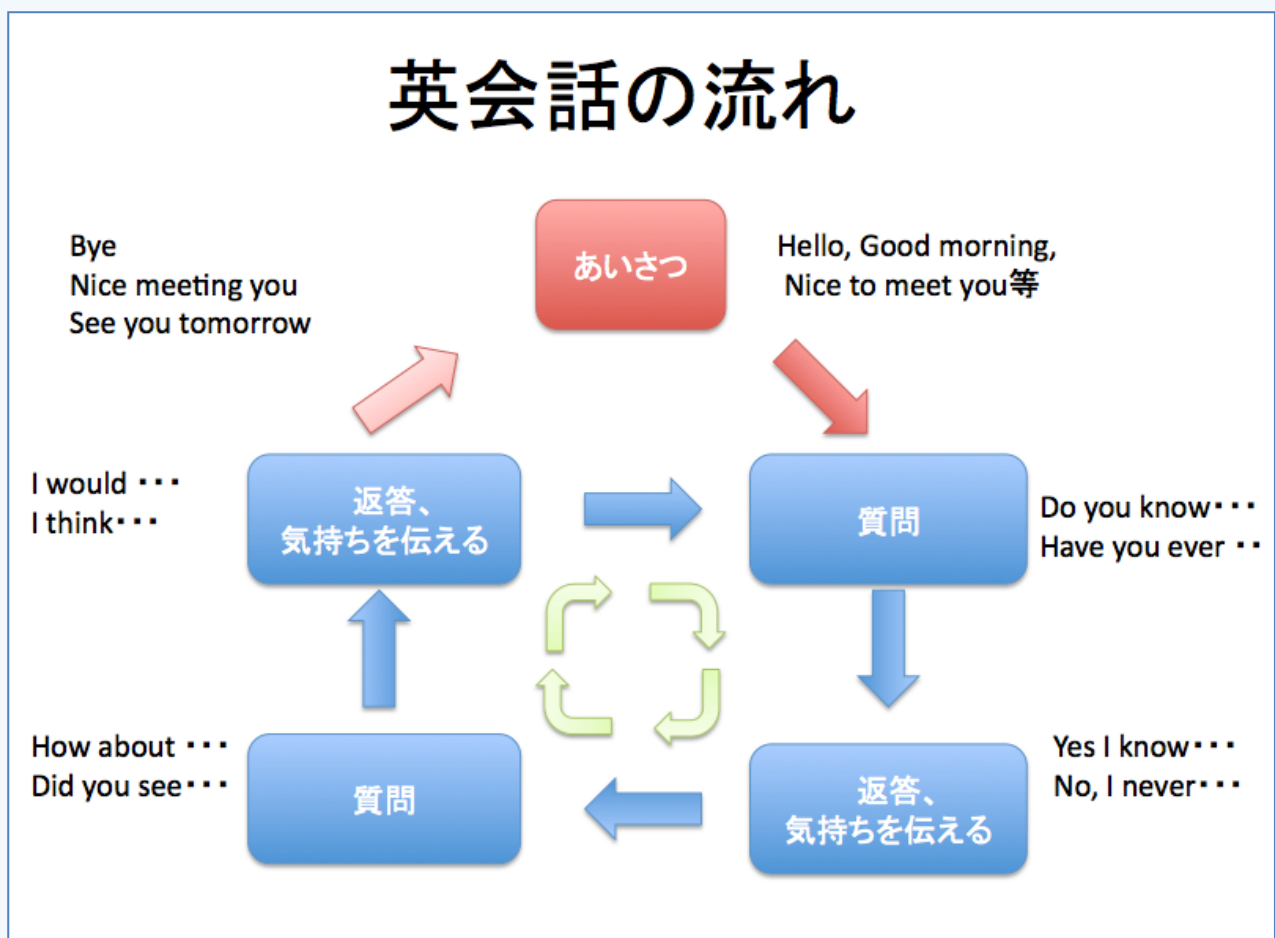
文法や会話を習ってしまうため、難しく感じて、中々うまくならないのです。

初心者の方はまず3つの部分を集中的に習うことがオススメです。

この3つの部分を時にはフレーズごと覚えることもありますが、仕組みを書いて覚えて、

そして使って覚えることで身に付きやすくなります。なぜ

「今、このフレーズを習っているのか」の理由をしっかりと頭で理解した上で、自分の目的を達成するために習っていることを実感しながら覚える事。



より早く英語で話す知識が身に付き自信も持てて英会話をする
場面への準備が出来るのです。

【4つ目】英会話を習う前に知って得するコツ！

二つの側面を使って英会話を身につける！

英語を習う時に注意することは、英語に慣れていない日本人が英語を話す時は、

頭の中で日本語を英語に訳しながらフレーズを組み立てます。

そして、英語を聞き取る時は頭の中で日本語に変えて理解しようとしています。

これが、だんだん慣れていくと、

単語そのものやフレーズそのものを訳すことなく、

頭で理解できるようになります。

ただし、慣れるまではこの作業が不可欠です。

英語を身につけるためには、

必ず日本語を英語に訳す方法と英語を日本語に訳す方法が必要

です。自分が言いたいこと又は伝えたい思い等は簡単な文法や単語を組み合わせて作っても十分に伝わります。

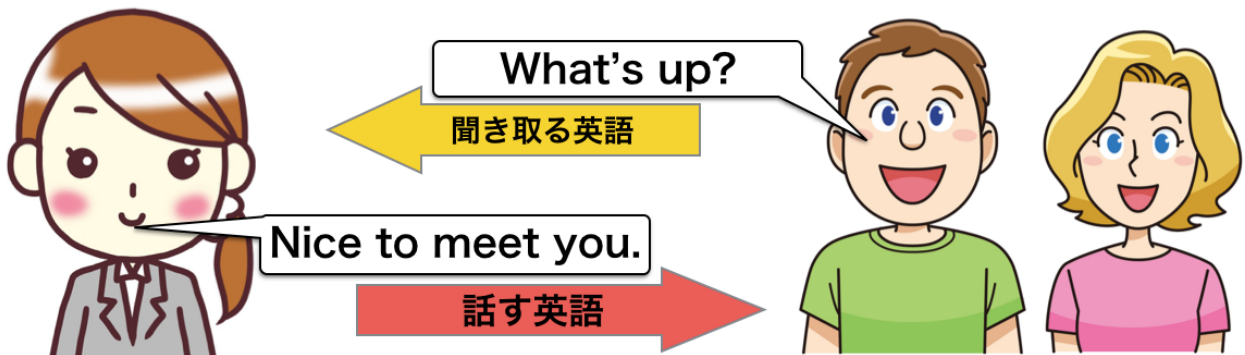
一方聞き取る英語は自分が使う英語より難しいため、発音や色んな言い回しを身につける必要があります。

2つの側面

自分が使う『話す英語』と
相手が使う『聞き取る英語』は別モノ！

日本人

外国人



この2つの側面を鍛えることで、英語を話すこと、
そして聞き取ることを身につけることが出来るのです。

【5つ目】英会話を習う前に知って得するコツ！

目標を明確にすること！

英会話を習うために最も必要なことは「なぜ英会話を習うのか？」を知る事です。

結局、最高のコツ、最高の授業、最高の先生がサポートしても、

あなたが英会話を身に付けたい想いが強くなければ、いくら習っても身に付かないのです。

なぜ英会話を身に付けたいのか？

この考えを明確にすることで、目指す目的が明確になり、その目的へ進む最短の道を選ぶことにつながるのです。

英語をネイティブ並みに上手になりたいと思うなら、

英語圏の国で生活して毎日、英語を話せば良いのです。

又は自宅で英語しか使わない環境に身を置くことです。

文法を理解して学校の試験に受かりたいと思うなら、文法を教えてくれる教科書や塾に行けばよいのです。

ただし多くの方は、

「外国人と出会った時に、少しでも会話ができるようになりたい！」

又は

「外国へ旅行に行った時、困らない程度に英語ができるようになりたい！」

こんな想いがあるはずです。

ちょっとした場面で外国人の話や、英語で自分が相手に伝えたいことが話せるようになりたい！と思うくらいであれば、日本にいなからでも、身につけることは可能です。

そのためには、日本人の弱点や考えを十分に理解しつつ、英語をきちんと話せる人から習う必要があると感じています。

そしてあなたの英語を身に付ける動機が何かを明確にして目的を達成するためだけのことを習えば良いのです。

自分の目標はなんですか？

そして、なぜ目標を達成したいのですか？

「目標」を明確にすることと、「なぜ達成したいのか？」この二つを明確にし、

英会話を習えば、最短で英語を身に付ける道が見えるはずです。

海外旅行で困らない程度に話すことや日本で出会う外国人と少しでも会話をしてみたい！こんな想いの方へ少しでも分かりやすく、少しずつ英会話を身に付けてほしいです。

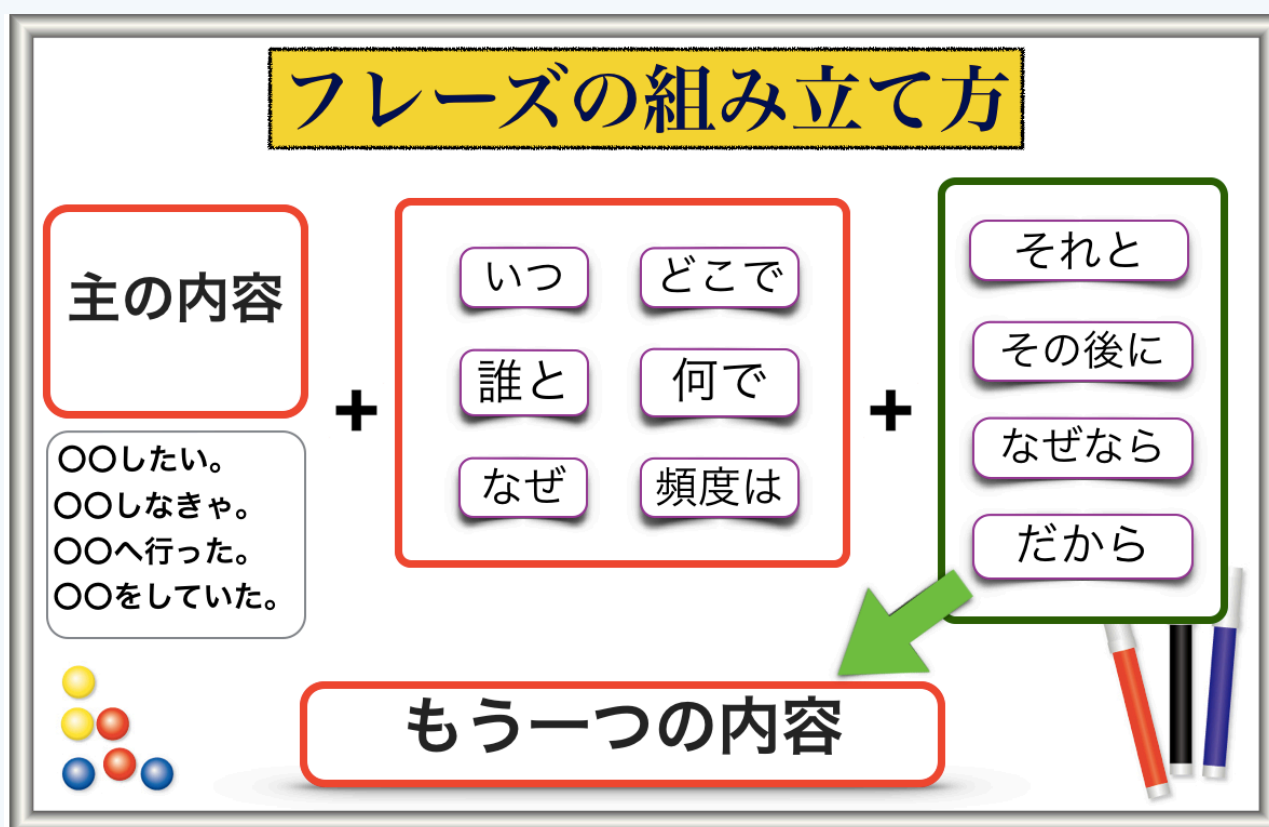
あなたが英語で話せるようになる、きっかけ作りのお手伝いを致します。

【6つ目】英会話を習う前に知って得するコツ！

後付け方を理解しよう！

英語は言ったもん勝ち的な感じですよ！

言いたいことを言って、そこから後付けしてフレーズを組み立てることが出来ます！



このように、最初に主の内容を言ってから、そのほかのフレーズを付け加えて組み立てることで、話しながら言いたいことを後付けすることが出来ます。『何を？』以外の『いつ？』『どこで？』『だれと？』等の順番は基本どの順番でも問題はないでしょう。

英語の特徴：英語は主に3つの部分に分けると良いです。

1) 動作や想いを表す単語が先に来る！

(例)	〇〇へ行った	I went to . . .
	〇〇が好きだ！	I like to . . .
	〇〇をしたい！	I want to . . .

2) その次に行動を表す単語『動詞』を置きます。

3) その後に、『何を？』『いつ？』『どこで？』『誰と？』等の詳細を後付けすることが出来ます！

このように『後付け方式』を使って話しながらフレーズを組み立てることができるようになります。

おわり